

令和8年度 京都府立山城高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>①自主・自立の精神を高め、強い意志を持って自らの進路を切り拓き、より良き社会の実現に向けて行動する主体的人物を育成する。</p>	<p>①大多数の生徒は、学習、学校行事、部活動等に意欲的に取り組んでいる。一方、様々な理由によって不登校状態になる生徒が、増加傾向にあり、今後もこの傾向が続くことが想定される。また高校無償化、少子化、私学志向など府立全体で志願者の減少が続いている。新しい入試制度での生徒募集が大きな課題である。</p>	<p>①一人一人の生徒を大切にし、基本的な生活習慣を確立させるとともに、欠席過多生徒に対する支援に努める。授業、学校行事、部活動等あらゆる教育活動の場で、生徒がいきいきと活動することで、学力の向上はもとより豊かな人間性を育む。また新しい選抜制度での志願者確保に向けた広報に取り組む。</p>
	<p>②生徒が自らの進路を考える機会を設定するとともに、学力向上に向けた様々な取組を進めており、昨年度は過去最高も国公立大学合格者を出すなどの成果をあげた。今後も生徒の高い進路希望の実現に向けて、切磋琢磨しながら支え合う学習集団を形成していくことが大切である。</p>	<p>②生徒が自分を社会の一員として俯瞰的に捉え、自立的・主体的な自らの生き方を展望することにより、高校生活や卒業後の自分の姿を描く機会の充実を図る。また生徒が切磋琢磨しつつ、互いに支え合い認め合う集団作りを行い、自身の学力向上、高い希望進路の実現に向けて取り組む。</p>
<p>②学習活動と部活動・学校行事等の双方に、生徒が高い目標を設定して主体的に励むことで、誇りと品格を持つ人間として成長を遂げる、質の高い文武両道を推進する。</p>	<p>③部活動加入率は非常に高く、多くの生徒が質の高い文武両道を目指して活動し、山城祭等の学校行事にもエネルギーを持って取り組んでいる。今後もこの学校文化を継承・発展させていく。</p>	<p>③部活動指導指針をもとに、質の高い文武両道の推進に向けて、教職員間での必要な情報や意識の共有を図る。また文武両面において、効果的な指導方法の研究及び環境の改善を進め、生徒の活動の活性化を図る。</p>
	<p>④学習と部活動の両立を図っていく取組を行い、多くの生徒が学習時間確保に努めた。一方で、計画的、自主的な学習に課題のある生徒もいる。生徒に授業を大切にする意識を高めさせ、より一層の学力の向上に努める。またワールドワイドパイオニア育成事業は、ドイツとの交流20年、訪日校、留学生の受入、1年全員の海外研修旅行の実施等により推進を図ることができた。</p>	<p>④質の高い文武両道の推進に向けて、日々の授業を大切に、生徒が高い目標を持ち、自ら学ぶ意欲を持つことによって学力向上及び希望進路の実現につなげる。また、ワールドワイドパイオニア育成プロジェクトの一層の充実を図るとともに、グローバルネットワーク京都に係る事業等、指定研究や外部事業を効果的に活用する。</p>
<p>③教育のプロとして専門性を高めるとともに、授業方法を検証・改善し、質の高い授業を展開する。</p>	<p>⑤総合的な探究の時間の充実を図るため、ワーキングチームを立ち上げ、指導計画等の改善を進めた。またDXハイスクールに指定されたことを受け、学校DX推進会議によって、教育施設の充実を図った。</p>	<p>⑤DXハイスクールの指定を活用し、学習環境の改善を図る。また指導方法の研究及び授業や校務等における学校のDX化の推進に向けた取組を進める。また引き続きワーキングチームを中心に総合的な探究の時間の充実を図る。</p>
	<p>⑥日常の業務の中で、働き方改革を意識してその質を高めることができるよう改善の方策をさらに進めていく必要がある。</p>	<p>⑥教職員の教育活動の充実につながるよう、常に改善の視点を持ち、業務の見直しを図る。教職員が働きがいを感じながら、日々教育活動に当たることができるような働き方改革に努め、業務の質を高める。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	No	評価	成果と課題
組織・運営	業務の的確な実施・検証	新しい入学者選抜制度への対応及び志願者の確保	1		
教育課程	本年度学校経営の重点⑤	教育課程及び評価の在り方についての検証と改善	2		
学習指導	同重点④⑤	生徒の主体的な学習を促すとともに、知識・技能、思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに協働によって課題解決力を高める授業や指導の実践	3		
		ワーキングチームを中心とした探究活動の改善、充実	4		
文理総合科教育	同重点④⑤	語学力を含めたコミュニケーション力の向上	5		
		学年を越えた取組の推進及び支え合いながら切磋琢磨する集団作り	6		
進路指導・キャリア教育	同重点①②④	将来の目標を見据え、高い目標を持ちながら、社会と自己を結びつけた主体的進路選択とその実現を図る指導の充実	7		
特別活動	同重点①②③	部活動、学校行事、生徒会活動等における生徒の主体的な活動の促進	8		
生徒指導	同重点①②	基本的生活習慣の定着及び互いを高め合う生徒の集団作り	9		
国際理解教育	同重点②④	ワールドワイドパイオニア育成プロジェクトの一層の充実	10		
外部連携	同重点②④	高大連携事業の充実と外部人材の積極的活用の一層の推進	11		
人権教育 特別支援教育 聴覚障害教育	生徒の人権意識の向上、特別な支援の必要な聴覚障害教育等の継続的实施	様々な困難がある生徒の社会的自立を支援し、進路保障の取組を推進	12		
		全校生徒への聴覚障害の理解促進や人権意識の高揚を図る学習活動の充実	13		
健康・安心・安全	生徒の健康・安全の確保に向けて、指導・整備の更なる充実を図る	事故防止及び SNS 等による様々な危険に関する意識啓発の強化	14		
		欠席過多生徒への支援の充実、事故や災害発生時の迅速かつ的確な対応	15		

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に向けた 改善の方向性	
-------------------	--